

■新しい義務教育学校のテーマ

- 新しい義務教育学校は、月形町で生まれた子どもたちが世代を超えて交流できる「もう一つの家庭」のような場所です。学年やステージごとの学習スタイルに合わせた**多様な教室や居場所づくり**を目指し、**学習意欲・想像力を高める学習空間**を計画します。
- 児童生徒が自ら学び、**未来社会を切り拓くための資質や能力**を育成できる多様な学習空間と、地域と連携できる学校づくりを行います。
- 子どもから大人までの交流を通じて、まちぐるみで子どもを見守り育てる「**ちいさなまち**」のような周辺環境と学校づくりを行います。

＜新しい義務教育学校の3つのテーマ＞



月形の子どもたちがのびのびと学習や活動ができる学校

- 誰ひとり取り残さない、誰にでも居場所のある、居心地の良い学校
- 自発的に好きなことを学び、探求できる学校



月形の町民が集まり学べるみんなの学校

- 「月形の子どもは月形で育てる」町民みんなで子どもたちを見守り、みちびく学校
- 児童生徒だけでなく、みんなが学び、交流できる学校



月形の未来へつながるあたらしい顔となる学校

- 「学校づくりはまちづくり」町民みんなの生活の一部となり、豊かな暮らしへつなげる学校
- 月形の歴史を受け継ぎ、未来へとつなげる学校
- 将来に負担を残さない、長く安心して使える学校

■建物のコンセプト

① 3層吹き抜けによる広々とした学校エリア

- 学校エリアの中央に3層の吹き抜け空間を設け、一体感のある広々とした空間とします。
- 吹き抜けの上部にはハイサイドライトを設け、1階まで自然光が差し込む明るい空間とします。

② 地域開放エリアと学校エリアの明確なゾーニング計画

- 地域開放エリアと学校エリアを建物の北東側と南西側で明確にエリア分けし、地域住民と児童生徒の動線が交錯しない計画とします。

③ 教育プログラムに適した教室配置

- 普通教室を4-3-2のまとまりで配置します。
- 普通教室の周囲に開放的なワークスペース（WS）を配置します。
- 個別に学習したり相談できる相談スペースを2階、3階に配置します。
- 授業の準備や個別指導などができる教師ステーションを2階、3階に配置します。

■地域開放のコンセプト

① 常時地域に開放する地域交流ホールとメディアセンター

- 地域交流ホールとメディアセンターは常時地域住民に開放し、児童生徒と地域住民が交流できる空間とします。

② 授業のない時間や放課後・休日に開放する特別教室とサブアリーナ

- 音楽室・視聴覚室、サブアリーナ、会議室、デザインスタジオ、キッチンスタジオは、授業や学校活動などに使用しない時間帯に、予約することで地域住民が利用できる計画とします。

③ 放課後・休日に開放するアリーナ

- アリーナは予約することで放課後・休日に開放できる計画とします。
- メディアセンターを開放しない時間帯でもアリーナのみで地域開放できるよう、単独の出入口を計画します。

■月形町義務教育学校開校準備委員会・新しい学校建設に係るワークショップの流れ

基本設計にあたり、PTA代表、月形町行政区連絡会議、こども園保護者代表及び学校関係者の代表からなる「月形町義務教育学校開校準備委員会」を組織して、月形町教育委員会と月形町関係部局と共に学校施設づくりを行います。

第1回開校準備委員会

(令和5年6月14日)

- ・開校準備委員会の設置



第2回開校準備委員会

(令和5年9月15日)

- ・プロポーザルでの提案概要についての説明



先進事例視察

(令和5年9月28日)

- ・安平町早来学園を視察



第3回開校準備委員会（第1回新しい学校建設に係るワークショップ）

(令和5年10月30日)

- ・前回委員会での意見のまとめ
- ・月形町アンケート結果の説明
- ・地域開放の事例の報告
- ・現時点での配置平面計画の説明、意見交換



第4回開校準備委員会（第2回新しい学校建設に係るワークショップ）

(令和5年12月18日)

- ・前回ワークショップと教育課程編成部会からの意見のまとめ
- ・新しい義務教育学校のテーマとコンセプトについての説明
- ・地域開放の考え方について説明
- ・前回ワークショップと教育課程編成部会からの意見を反映した配置平面計画の説明と意見収集



第5回開校準備委員会（第3回新しい学校建設に係るワークショップ）

(令和6年1月31日)

- ・前回ワークショップと教育課程編成部会からの意見のまとめ
- ・地域開放の考え方について説明
- ・前回ワークショップと教育課程編成部会からの意見を反映した配置平面計画の説明と意見収集



第6回開校準備委員会（第4回新しい学校建設に係るワークショップ）

(令和6年2月6日)

- ・前回ワークショップの意見のまとめ
- ・前回ワークショップの意見を反映した配置平面計画の説明と意見収集



パブリックコメント

(令和6年3月1日～3月31日)

- ・基本設計書（案）についての意見を聴取



第7回開校準備委員会

(令和6年3月26日)

- ・基本設計書（案）について説明
- ・配置平面計画の変更についての説明



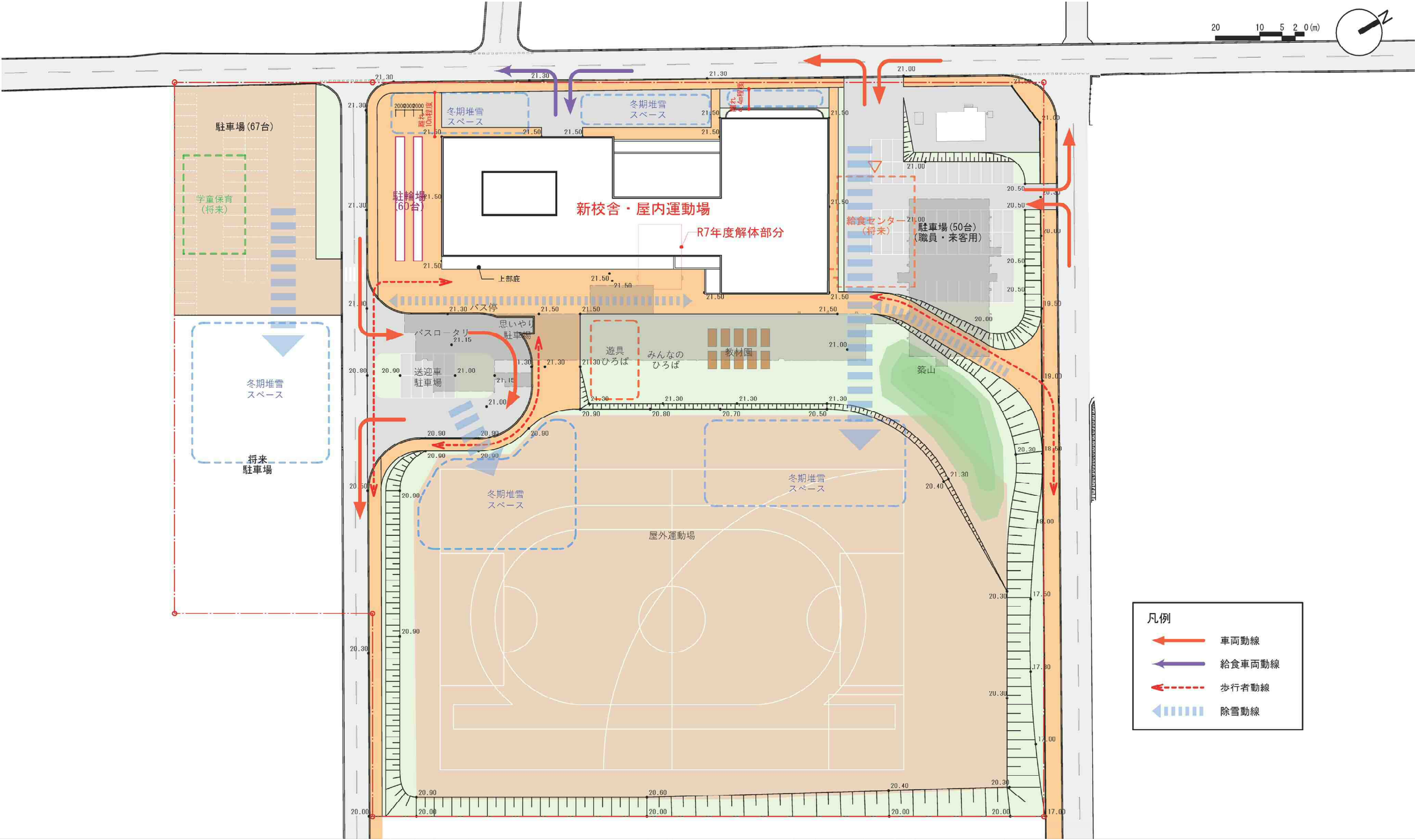
地域説明会

(令和6年3月27日)

- ・基本設計書（案）について説明と質疑応答

■配置計画

- 新しい校舎は敷地西側に配置し、既存の屋外運動場を活用した効率の良い配置計画です。校舎と屋内運動場は一体に整備し、コンパクトでまとまりのある建物です。
- メインアプローチは南側とし、駐車場を北側とすることで歩車分離を図り、児童生徒の安全な登校動線を確保します。職員室をグラウンド側に配置することで視認性を高くし、登下校時の児童生徒の様子やグラウンドを見渡すことが可能です。
- メインアプローチは浸水の恐れが少ない南側とし、安全な避難ができる計画とします。

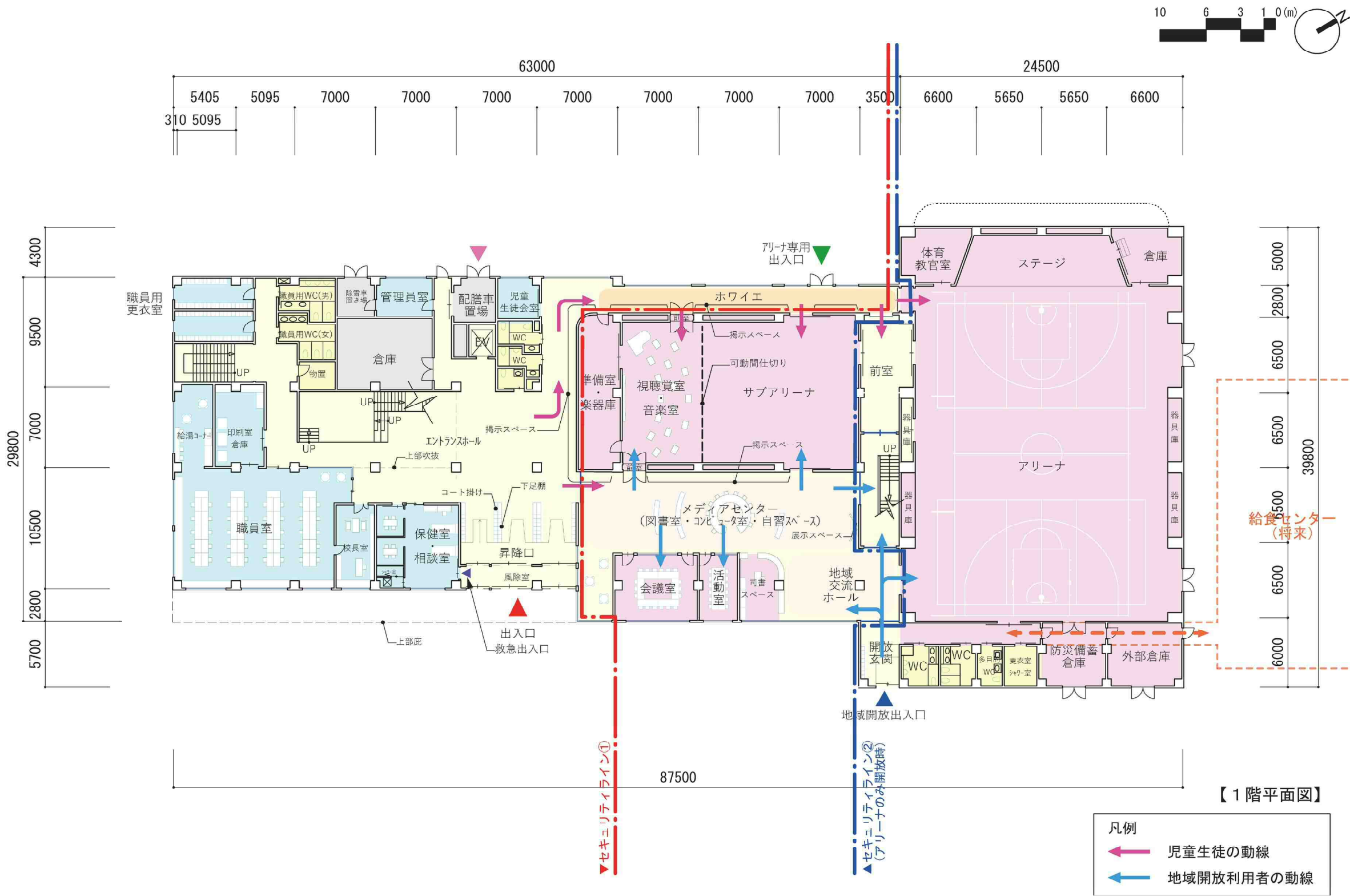


■平面計画（1階）

- **メディアセンター中心の平面計画：**
校舎1階中心に開放感のあるメディアセンターを配置します。1階から3階までの吹抜空間として、周囲を取り囲むように各諸室を配置し、一体感のある広々とした空間です。
- **メディアセンターはみんなの図書室**
として地域住民に開放し、児童生徒と地域住民が交流できる新たな居場所とします。読み聞かせサークルや読書会など、地域住民と児童生徒の交流の場となります。
- **屋内外を見渡せる職員室：**
職員室はガラス張とすることで学校全体を見渡すことができ、死角がない計画とします。
- **屋内運動施設：**
アリーナの他にサブアリーナを隣接して配置し、安全に運動できる場所とします。
- **視聴覚室＋音楽室：**
タブレット端末やノートパソコンなどのICT技術導入により視聴覚室の使用頻度が減少していることから、音楽室と視聴覚室は兼用して、防音仕様の壁や音響設備など共通の設えとする計画とします。また、サブアリーナと可動間仕切りにより一体空間とすることで、演奏会や演劇などのイベントに活用することができます。

■建物概要

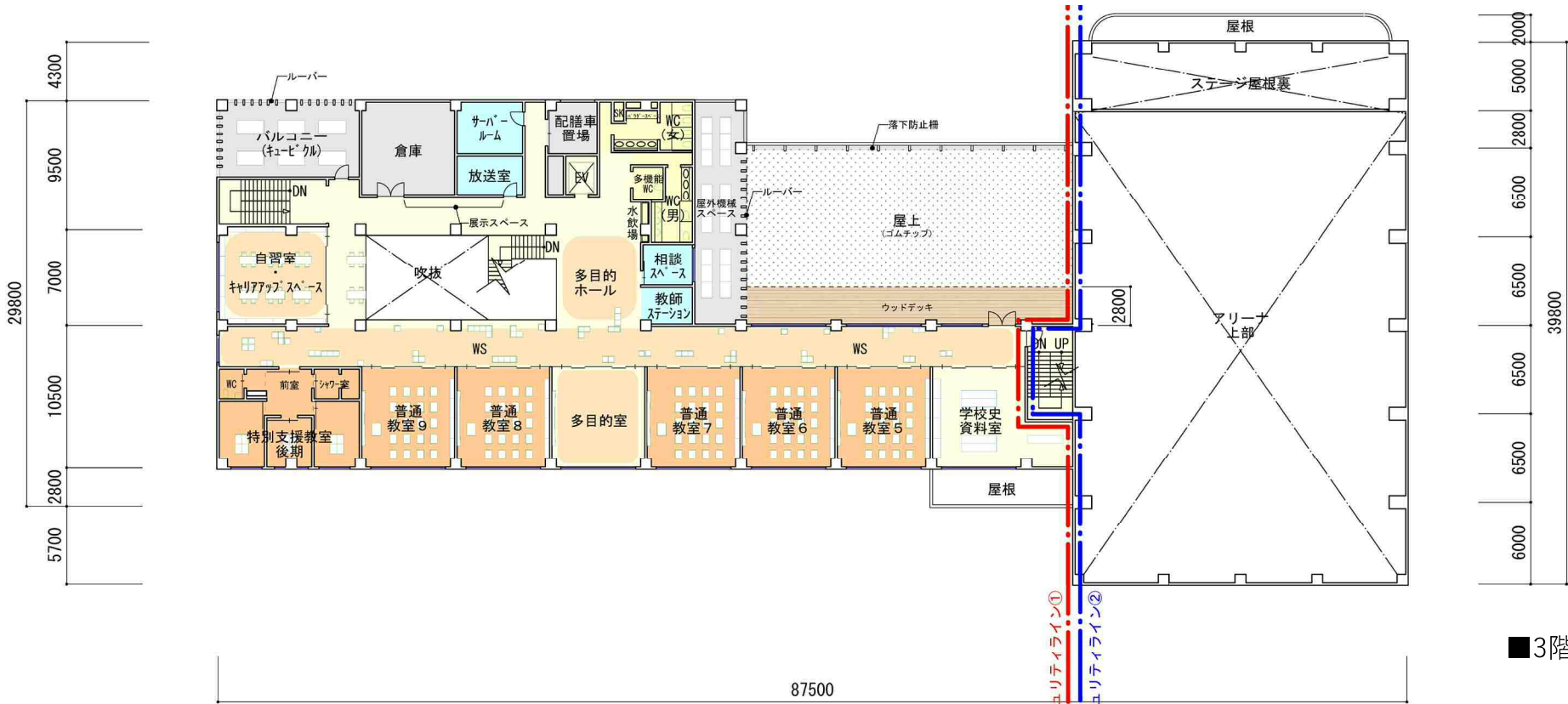
- 全体延床面積：5,483㎡
- 校舎延床面積：4,139㎡
- 屋内運動場延床面積：1,344㎡
- 階数：地上3階
- 構造：鉄筋コンクリート造



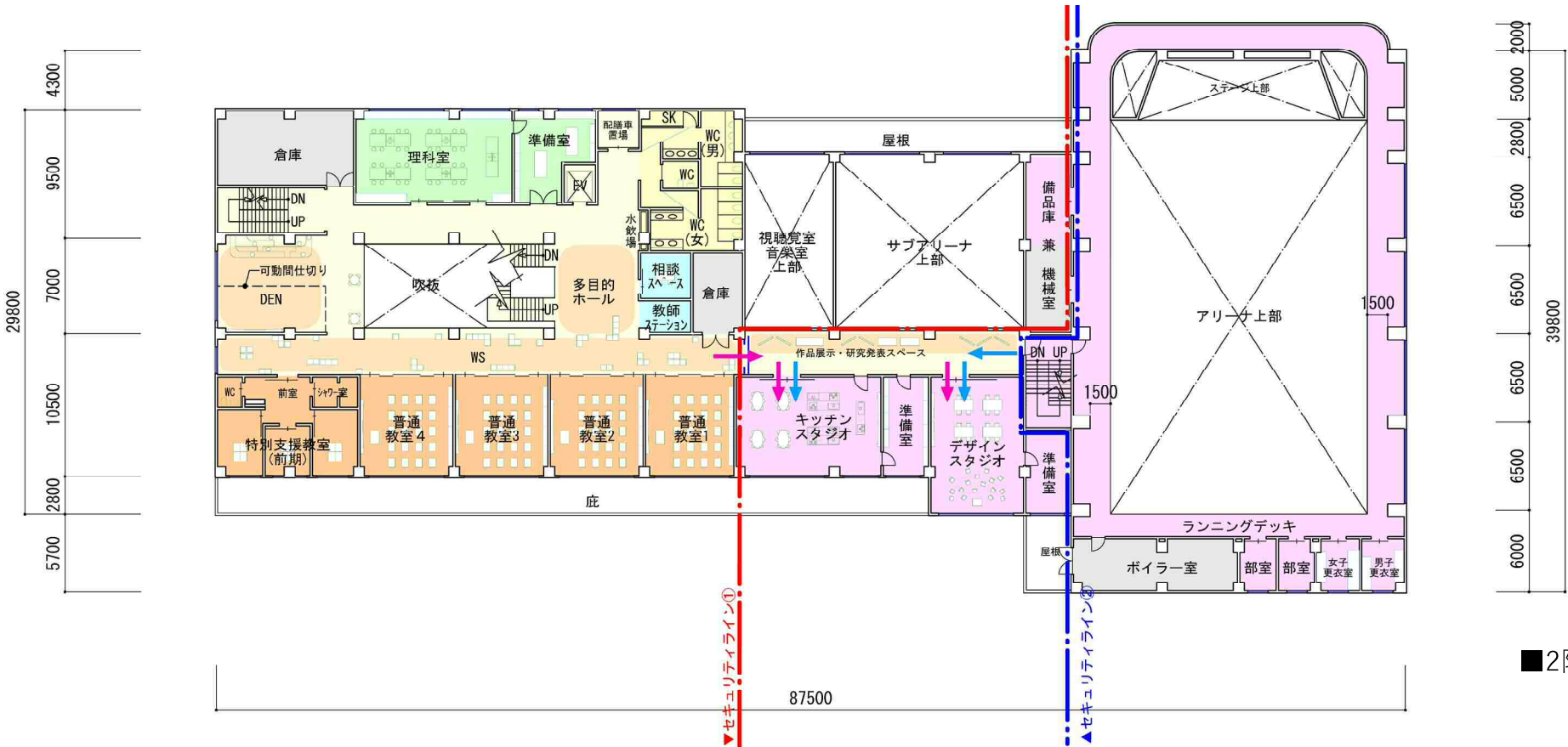
※計画中のデザインのため、今後変更の可能性あります。

■平面計画（2階・3階）

- 陽当たりのよい教室：
普通教室と特別支援教室は2、3階の南側に配置します。回遊性のある廊下でつなげることで、のびのびと生活できる計画とします。
- 各年齢ステージでの分節配置：
普通教室は各ステージ（1～4年：第Ⅰ期、5～7年：第Ⅱ期、8,9年生：第Ⅲ期）ごとにまとめて分節配置します。各ステージの最高学年でのリーダーシップを養いつつ、ステージが上がるごとに児童生徒自身が成長を感じられます。
- 多様な学習に対応するワークスペース・自習スペース：
教室前付近に個人に合わせた習熟度学習やグループ学習など多様な授業を行えるスペースを計画します。
- デザインスタジオ：
図画工作室、美術室、技術室は一体的な広い空間としてまとめ省スペース化を図ります。収納や洗い場、工作器具などの備品を共用します。家具を移動させて広い教室とすることで、地域住民も参加できるものづくり教室などにも活用できます。
- キッチンホール：
家庭科室と多目的室（ランチルーム）は複合化し、一体空間とすることで、地域住民や外部講師を迎えての料理教室や昼食会などのイベントを行いやすくします。



■3階平面図



■2階平面図

※計画中のデザインのため、今後変更の可能性があります。

■立面計画

- 建物は3階建てとし、校舎と屋内運動場の高さを統一することで、コンパクトでまとまりのある建物形状とします。
- 1階エントランス周辺には庇を設けて、雪や雨に影響されない歩行空間とします。落雪の危険がある上部の庇や屋上パラペット部分は雪庇防止金物の設置などを行い、落雪が起こりにくい計画とします。

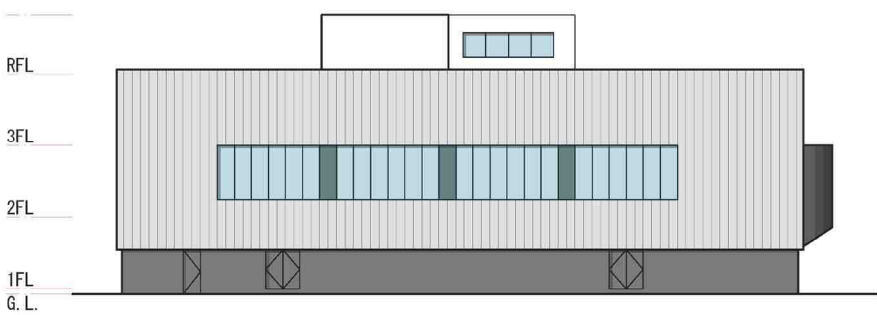
■外部仕上計画

- ZEB Ready基準※の省エネ建築とするため、外部は蓄熱性能の高い外断熱工法とします。
※ZEBReady：一般的な建物に比べて一次消費エネルギーを50%以上削減した建物
- 屋上はイニシャルコストと施工性の高い改質アスファルト防水とします。
- 建具は、断熱性に優れたアルミ樹脂断熱サッシを選定します。
また一部アルミ木複合サッシを用います。
- アリーナ南東面に太陽光パネルを設置します。壁面に垂直に設置することで、
積雪時にも発電できることに加え、雪の反射により発電効率の向上を図ることができます。

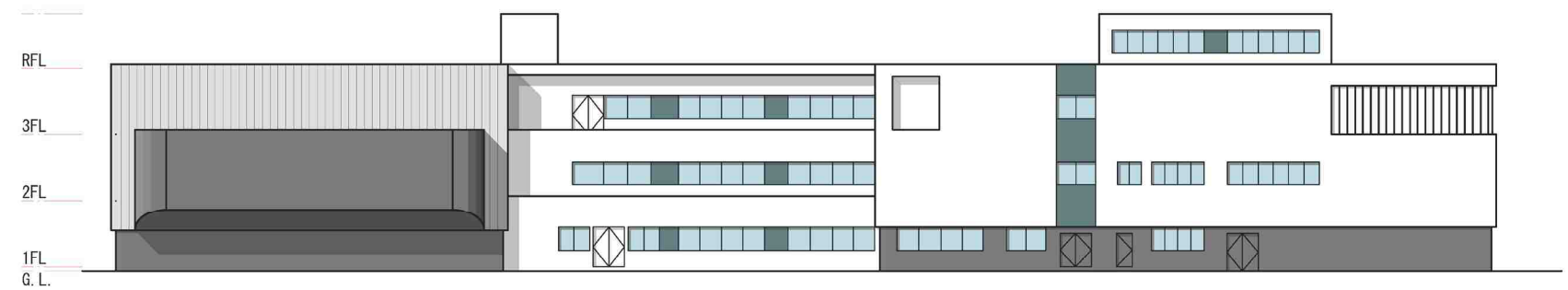
区分	部位	仕上げ
屋根		改質アスファルト断熱防水 トーチ工法
外壁 1	2・3階一般部	ガルバリウム鋼板 t=0.4（外断熱）
外壁 2	1階一般部	複層塗材RE（外断熱）
外壁 3	妻面	擬木材仕上（外断熱）
建具	一般部	アルミ樹脂複合サッシ アルミ木複合サッシ
	排気部	アルミガラリ・アルミ



【南側立面図】



【東側立面図】



【北側立面図】



【西側立面図】

※計画中のデザインのため、今後変更の可能性があります。